

広報119

2014秋号 vol.18



地域の防災は
みんなの力で!

9月7日消防フェスタ IN 大東 2014 より

●●● 今後の行事予定 ●●●

11月2日	消防住警器フェアいちのせき	1月24日	危険物取扱者試験
11月8日	防火ポスター表彰式	1月26日	文化財防火デー
11月9日～15日	秋季全国火災予防運動	2月下旬	消防設備士試験
11月16日	災害救護研修会（花泉会場）	2月下旬	優良自主防災組織等表彰
12月7日	災害救護研修会（一関会場）	3月1日～7日	春季全国火災予防運動
1月15日～21日	防災とボランティア週間	3月8日	防災フォーラム
1月17日	防災とボランティアの日	3月11日	一関市となりきんじょ防災会議の日

一関市消防本部のホームページ

WEB
で検索

一関消防

検索

火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

消防フェスタ in 大東2014

平成二十六年九月七日(日)、一関北消防署を会場に、消防フェスタ in 大東2014が開催されました。

今回の消防フェスタは、参加体験型のイベントを通じて、子供からお年寄りまで、幅広く多くの人々に防火・防災意識の高揚を図るとともに、普段あまり触れる機会のない「消防・救急・救助」に多くの人が触れ、楽しむことを目的としたイベントです。

内容は、消防車体験乗車コーナーやミニ消防服の試着、写真撮影コーナーといった子供向けの催しから、岩手県防災指導車「しんちゃん」による地震・煙体験や非常食の試食、応急手当体験コーナーなどの体験型訓練が行われました。

その他、大人の男女と子供の部に分けた大声チャンピオン大会も開催され、大声自慢の男女や子供たち総勢約二十名が自慢の声を会場いっぱいに響かせました。

イベントは午前十時から午後二時頃まで行われ、その間の総来場者数は約八百人を数え、多くの方々に消防を身近に感じてもらえた一日になりました。



応急手当体験



大声大会



ロープ渡過体験

平成二十六年九月二十一日(日)、いちのせき元気な地域づくり事業として花と泉の公園を会場に、花泉フェスタ&消防祭が開催されました。

救急体験コーナーでの応急手当体験、レスキュー体験コーナーでのロープ渡過体験やロープワーク講座などでは、大粒の汗をかきながら必死に体験する子供を家族が大声で応援をするなど、子供からお年寄りまで幅広く活気あふれるイベントとなりました。また、普段あまり触れることのない救急車に目を輝かせ乗車する子供、それを見守る大人、最高の笑顔で記念撮影するなど賑わいのあるイベントとなりました。



纏披露

花泉フェスタ&消防祭

救急救命士の行う処置範囲が広がりました

一関市消防本部では、救急救命士法施行規則の改正に伴い、平成26年7月1日正午から次の2つの処置について運用を開始しました。対象年齢は15歳（推定も含む）以上で、一定の条件に該当した場合に実施されます。

1 血糖測定と低血糖発作時のブドウ糖溶液の投与

・意識状態が悪くなっている傷病者に対して血糖値の測定を行い、低血糖が確認された場合は、医師から電話等で指示を受け、ブドウ糖溶液を投与し、症状の改善を目的とする処置です。

2 心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液

・心臓が停止する危険性のあるショック状態の方や、身体が重い物に長時間挟まれ血液のめぐりが悪くなっている傷病者に対して点滴を行い、症状の悪化を防止する処置です。



適切な処置に繋げるため傷病者の持病や事故の状況について、救急隊への情報提供をお願いします。



シリーズ第十七回

感染症予防

県立磐井病院救急医療科長 片山 貴 晶

そろそろ秋が近づいてきました。感染症が増加してくる季節です。

インフルエンザなどの感染症の予防はまず手洗い입니다。常に念入りな手洗いをするだけで予防できます。また、咳をしている人と接する場合には相手にマスクをつけてもらいましょう。飛び散ったウイルスなどが自分の衣服などについて、それを触ると感染する可能性があります。自分だけがマスクをつけてもあまり効果はありません。相手がマスクをつけてれば、自分がマスクをせずに普通に接した場合でも簡単に感染するものではありません。胃腸炎などを起こすウイルスなどに対しては経口感染が主体ですから、特に手洗いが有効です。推奨される手洗いですが、石けんを使用して、手の表裏、指の間、爪や手首などをよくこすりながら、もみ洗いしてください。

うがいをしよう



さい。三十秒以上かけてじつくりと1日何回でも洗って下さい。なお、磐井病院救急外来を小児科医などの特定診療科医師の診察を希望して受診される方がいらっしゃいます。当院では各科の医師は少なく夜間・休日は研修医を含めた当直医2名しか院内に常駐していません。また、各科の医師が当地域にいない場合も多くありますので、受診の際はご注意ください。

ストーブ火災は 防げます！

これからの季節を快適に過ごすには、ストーブ等の暖房器具が必要不可欠です。しかし、この時期ストーブが原因となる火災が毎年発生しています。

その原因の多くは、機器の不具合等の問題ではなく、使用者の不注意や不適切な取り扱いにより発生しています。

下の図のような事に注意し、安全な取り扱いをすることで、ストーブによる火災を防ぎましょう。



タンクのキャップを確実に閉める



火のついたまま給油をしない



ストーブの上や周囲に燃えやすい物を置かない



ストーブのそばであそばない

火をつけたままストーブを動かさない



消防 Q & A

問：救急車を呼んだのに、なぜ消防車がサイレンを鳴らして一緒に来るのでしょうか？

答：一関市消防本部では、救命のために一刻を争う事態等において、救急隊だけでは活動が困難な場合や、救命・救出活動をこれまで以上にすばやく安全確実に行うことを目的として、救急隊の出勤に加え消防隊が出勤し、救急活動を支援する「PA連携」(ピーエーれんけい)を実施しています。

PA連携とは、消防車(ポンプ車:Pumper)と救急車(Ambulance)双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

到着時間の短縮や救命率のアップなど、市民生活の安全と市民サービスの向上を図ることができます。みなさまのご理解とご協力をお願いします。



発行日 ●平成26年10月24日
編集 ●一関市消防本部
〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3
TEL (0191) 25-0119

大東町婦人消防協力隊 連絡協議会が表彰されました。

平成26年度岩手県幼年婦人防火委員長表彰伝達式



平成26年9月19日(金)一関北消防署において岩手県幼年婦人防火委員会より優良婦人消防協力隊として表彰されました。

消防職員川柳

- ・防災は 起きた後より 起きる前
- ・危機管理 想定外も 想定内
- ・消防車 道をゆずって 安全に